

# 日本博の開催準備等に関する関係府省連絡会議 (第3回)

## 議 事 次 第

日時：令和2年9月10日(木)  
15時00分～15時30分  
場所：官邸4階大会議室

### 1 開 会

### 2 議 事

- (1) 日本博について
- (2) 意見交換

### 3 閉 会

#### 《配布資料》

資料1 日本博について

参考1 日本博の開催準備等に関する関係府省連絡会議の開催について

参考2 日本博の開催準備等に関する関係府省連絡会議運営要領

# 「日本博」について

令和 2 年 9 月



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



独立行政法人

日本芸術文化振興会

- ・昨年4月から公募等を行い、主催・共催型69件、公募助成型69件 **計138件を採択**
- ・参画プロジェクト **288件を認証**

## ◆主催・共催型 :69件 (118件提案)

※一次受付:19件採択(23件提案)、二次受付:31件採択(46件提案)、三次受付:19件採択(49件提案)

## ◆公募助成型 :69件 (177件申請)

※一次募集:38件採択(113件申請)、二次募集:27件採択(48件申請)、三次募集:4件採択(16件申請)

## ◆参画プロジェクト :288件

## ◆プロモーション

- ・黒柳徹子氏を広報大使として任命
- ・観光庁、JNTOとの連携による海外発信
- ・ラインナップリーフレットの作成・配布、HP（英語発信）等を実施
- ・今後、本格的なHP等の運用開始、国内外メディア・在京大使館の招へいなど本格的なプロモーションを開始
- ・関係府省との連携を具体的に企画・実施  
(国立公園、日本酒、ファッション、共生社会、外交団招へい等)



黒柳徹子 (撮影下村一喜)

日本文化体験「日本のよろい！」(主催・共催型)

東京国立博物館/令和元年7月17日(水)~9月23日(月)  
主催:東京国立博物館、文化庁、日本芸術文化振興会

日本の甲冑を皮革・漆等の自然素材などで再現した「甲冑製作技術」、「ハンズオン甲冑」、「甲冑のレプリカ着用体験」を安土桃山時代の本物と併せて展示しました。サポートスタッフの配置や、日英中韓4か国語表記により、訪日観光客にも日本文化を楽しめる企画を実施しました。

ハンズオン甲冑



《アンケートからの抜粋》

- ・ヨーロッパの、少なくとも標準的な鎧はもっと地味です。ただ仕事をするためだけに作られていて。日本のよろいは本物の芸術といった性質が強いですね。それが両者の違いだと思います。これを着けるのも、芸術だと思いますね！(ドイツ・30代・男性・旅行者)
- ・素晴らしいと思いました。さまざまな種類の鎧がどのように組み立てられているのか、どのように異なる板を組み合わせているのかが見ることができて本当に興味深かったです。それに、それぞれの鎧に取り付けられている多様な飾りも。(アメリカ・30代・男性・旅行者)

総入館者数

112,150名

うち外国人来館者数

39,641名

総入館者に占める割合  
35.4%

外国人のための能楽鑑賞教室

DiscoverNOH&KYOGEN (参画型)

日本芸術文化振興会 国立能楽堂/令和元年5月29日(水)、10月31日(木)  
主催:日本芸術文化振興会

「外国人のための能楽鑑賞教室 DiscoverNOH&KYOGEN」は伝統的な舞台芸術である能と狂言を、英語による解説を交えながらコンパクトに上演しました。多言語化されたパンフレットや字幕による解説を用意したことで、さらなる訪日外国人の誘客を図りました。また、外国人向けに、大鼓・小鼓の演奏体験や、衣裳の着用が体験できるワークショップも実施しました。

来場者数:2公演 1,163人(うち約6割が外国人)



ワークショップの様子

《アンケートからの抜粋》

- ・能楽師の皆様の渾身の取組に感銘を受け、公演を心から楽しみました。能と狂言の文化は、古い一方で実に壮観です。
- ・多くの視野を開いてくれ思いついたことのないアイデアをもらいました。最高の日本文化遺産の一つを観劇する機会をいただいたことに感謝します。またの観劇の機会を望んでいます。このような良い取組をぜひ続けてください。



特別展「流転100年 佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美」開催記念  
十二単お服上げの再現—現代につながる王朝の美（主催・共催型）

京都国立博物館／令和元年11月9日（土）  
主催：文化庁、日本芸術文化振興会、京都国立博物館、日本経済新聞社、  
学校法人国際文化学園 国際文化理容美容専門学校 衣紋道東京道場

「流転100年 佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美」展の開催を記念して、「十二単※」のファッションショーを行い、平安時代の貴族女性の姿を舞台上に再現しました。「十二単」の鮮やかな色の重なり、かすかな衣擦れの音、お服上げ（着付）の巧みな技術を鑑賞していただきました。

※ 十二単：貴族の除装束の一種の通称。

《アンケートからの抜粋》

- ・ 十二単の着付けを見る機会がなかなかないのでとても良い機会でした。この様な展覧会と関連したイベントがあれば良いと思いました。
- ・ 伝統的な装束の美しさ、所作の美しさを見ることが出来て良かった。

日本遺産を活かした伝統芸能ライブ「NOBODY KNOWS」プロジェクト  
—日本の自然と祈り、自然と技—（主催・共催型）

岐阜県高山市、富山県南砺市、岡山県倉敷市、神奈川県伊勢原市、  
山形県鶴岡市、大分県豊後高田市／令和元年9月～11月  
主催：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、文化庁、日本芸術文化振興会、ほか

全国の日本遺産における伝統建築や史跡等を舞台に、地域の歴史的背景から伝承されてきた“自然と祈り”または“自然と技”を切り口に、バイリンガル対応のトークや芸能などを通して地域の日本遺産を構成する文化芸術を取り上げる、これまでにない「タイムトリップ型」の伝統文化ライブを開催しました。



伊勢原市・大山阿夫利神社



高山市・日下部民藝館



鶴岡市・出羽三山神社



倉敷市・箭田大塚古墳

《外国人参加者のアンケートから抜粋》

【高山公演】

- ・ このショーが観光客に勧められているのがとてもいい。トークの内容をもっと理解できたらなと思った。でも全体を通して、すごくよかった。

【鶴岡公演】

- ・ 歴史的な場所で文化的なイベントがあって、とてもクリエイティブなツアープランだと思う。

【豊後高田公演】

- ・ 人生にまたとない驚くべき体験。一生忘れない。
- ・ すべての世代において、このようなことをもっとたくさんの人が知って、体験してそして感謝すべきと思う。
- ・ 国東は美しい自然があり、美しい人々がいる、魅力的な地域。

《関係者の声》

【伊勢原公演（小田急電鉄 担当者）】

- ・ 芸団協、神社、行政など、異業種が一丸となって作り上げた、初めての企画です。お客様から「(略)こんなに面白い文化があるとは知らなかった」というお声をいただきました。

【高山公演（行政 担当者）】

- ・ 子供たちと一緒に練習したりすることによって感化された。(略)外国人にも多く知ってもらえる機会となるとありがたい。



ファッションショー：4回公演  
来場者数：754人（うち外国人約20人）



## 2020東京大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル ー2020グランドオープニングー（主催・共催型）

滋賀県びわ湖大津プリンスホテル、ボーダレス・アートミュージアムNO-MA  
令和2年2月4日（金）～9日（日） ※厚生労働省との連携事業  
主催：障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会、  
2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク、  
文化庁、日本芸術文化振興会

「日本人と自然」を障害者の視点を通じて国内外に発信する、文化芸術フェスティバルのグランドオープニングイベントです。グランドオープニングでは、アール・ブリュット展や障害者舞台芸術など多様なプロジェクトを実施しました。障害者の芸術表現、そして障害者が自身の特性とともに生きる様には、日本人が縄文時代から持つ、四季折々の天然の色彩、音の風情を慈しむ心が強く表現されています。また、本フェスティバルは、厚生労働省及び全国50万人が連携し行い、全国展開します。



アール・ブリュット  
ー日本人と自然ー 展



展示会の様子



信楽の地域を感じる体験プログラムの様子

【参考】木村佑介「仏像」

【参考】木村茜「お線香花火」

### 《参加者アンケートからの抜粋》

- ・物だけでなく、心も平らで、誰もが幸せに感じながら生きていける世界につながるイベントだなと思いました。
- ・全国でもっと多くの方々にこのような機会が提供されることを望みます。ご尽力の皆様にご感謝いたします。
- ・アール・ブリュット展、毎年新たな驚きがあります。まだまだ知られざる作家の方に出会えるのが楽しみです。
- ・障害者の頑張っている姿をもっと身近に感じられる機会が増えて欲しいと思います。楽しかったです。
- ・舞台公演はより広く一般に知れ渡ってほしい活動が多かったと思います。滋賀だけでなく、東京や東北にも巡回するといったのではないのでしょうか。(略)ヨーロッパにおいて、市民団体レベルの活動はあるのかなのか。あるとしたら、どのような活動をしているのか知りたいと思いました。

## みんなの花火 ～障害者も健常者も一緒に楽しめる花火～ （イノベーション型）

帯広市、刈谷市、諏訪市、世田谷区、大仙市、会津若松市、あきる野市  
令和元年8月～11月

主催：一般社団法人日本花火推進協力会

オールジャパンで名人花火師が集い、障がい者と共に創り、障がい者も楽しめる花火を企画実施しました。障がい者、著名華道家、名人花火師の三者が創作する独創的な花火などを全国7か所で披露し「多様性と調和」の一助になることを目指しました。また、花火大会がインバウンド招客のコアの観光資源となるべく、PR動画やホームページを駆使してインバウンド向け予約サイト、SNSなどで招客しました。



手のひらにいっぱいの絵具を塗って作った花火のデザインをもとに、花火の演出プログラムを作り上げ打ち上げた。



### 《参加者アンケートからの抜粋》

- ・花火大会も素晴らしいが、特に障害者の花火大会の取組がとても素晴らしかった。花火とナレーションには夢がありました。
- ・触ってわかる花火の展示ブースでは、パネルでとても分かりやすい図解もあり、着火についての話や導線までの長さなど職人さんの技術のすごさを感じられるお話が盛りだくさんで勉強になりました。
- ・今まで花火大会に行くことを諦めていたので、今回様々な方のサポートにより初めて花火大会に参加できて良かった。本人だけでなく、家族にとっても非常に幸せな時間でした。

2019年度より、「日本博」の魅力をも効果的に伝えられるコンテンツを作成し、それらを戦略的に活用しながら、各国地域ごとにターゲットに合わせたプロモーションを展開する。プロモーションに当たっては専門家から様々な助言を得るとともに、JNTO等とも連携しながら進める。

## I 公式WEBサイト等における多言語発信

オンライン上の様々な方法による発信を実施し、サイトの認知度、アクセス数向上を高め、日本博事業の認知度向上を推進。

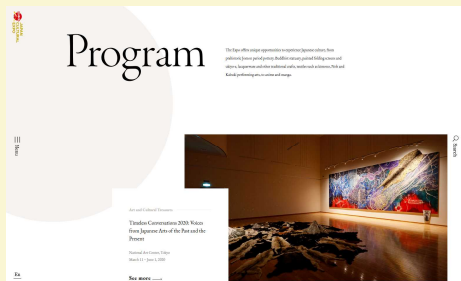
### (1) 公式WEBサイト等

#### ① ホームページ

- ・日本語HPを2019年3月開設。
- ・2020年3月に英語・仏語・韓国語・中国語（繁体字・簡体字）で発信を開始。



「日本博」英語ウェブサイト



#### ② SNS等

- ・日本博公式SNSとして、Instagram Facebook Twitterを運用中。
- ※2020年7月よりYouTube運用開始。



「日本博」Twitter

「日本博」Facebook

### (2) JNTOとの連携

- JNTOの
- ・多言語ウェブマガジン
  - ・グローバルサイトニュース
  - ・Facebook等
- を活用して情報を発信

(例)



## II 日本博広報大使、日本博サポーターの委嘱

国内外への日本博周知に向け、広報大使・サポーターを委嘱。

### (1) 日本博広報大使



黒柳 徹子 氏  
(撮影 下村一喜)

### (2) 日本博サポーター



谷原 章介 氏

日本博広報大使就任記者発表（2020年1月15日）後、露出件数がTV 4件、新聞 60件、WEB 328件となり、大きな反響があった。

## III 海外メディア対応

### (1) 海外メディアへのプレス発表

在京海外メディアに対するブリーフィングを実施。

- ・FPCJプレス・ブリーフィング：2020年1月15日15:30～

### (2) プレスタッア

- ・発信力の高い海外メディア向けに、日本博プレスタア等を実施し、各メディアを通じて日本博コンテンツの発信を行うとともに、ツアー造成等への需要につなげる。

(例) 日本博in日本橋（2019年10月25日）海外メディア等プレスタアとして重要文化財ツアー、和食、浮世絵体験など実施。

（日本博オープニングセレモニーにあわせた海外メディアの招へいは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。）

## IV 海外メディアタイアップ広告

海外メディアとのタイアップ広告により、「日本博」を海外に効果的に発信。

### The Economist (英)



(2020年3月7日発行)



(2020年3月16日発行)

### MONOCLE (英)

イギリス・ロンドンを拠点に世界100か国で富裕層読者を多く持つ。

発行形態：年10回刊、特別号を年2回発行

発行部数：160万部

発行元：MONOCLE

言語：英語

### Japan Times Japan Times WEB (訪日外国人メディア・日)



2020年3月6日から2週間連続掲載

### MATCHA (オンラインメディア・日)

- ・言語：日本語・英語・タイ語・繁体字・簡体字
- ・アクセス地域TOP5：台湾、タイ、香港、アメリカ、インドネシア
- ・通常、1記事6,000PVのところ、2倍近いPV数を獲得 ※PV数…WEBページを開いた数



(2020年3月27日公開)

### Tripadvisor (米)

#### Carousel広告

- ・ターゲット：US, AU, UK, SG, TW, KRなど
- ・同社全体の平均を上回るクリック率がみられ、非常に良い結果

#### Facebook・Instagram広告

- ・オープニングセレモニー予告18秒映像が28.8万回再生された。



(2020年2月14日～3月10日)

## V 在外公館を通じた発信

### 在外公館を通じた「日本博」对外広報を依頼

- ・外務省に対し、在外公館経由での日本博広報を依頼。
- ・216公館へ日本博ポスター、チラシ、パンフを送付。(2020年3月)
- ・在外公館ホームページに日本博バナーリンク掲載を依頼。(英・伊・中・韓・豪等で掲載)

## VI 国際会議等での発信

### (1) ICOM (国際博物館会議)

2019年9月京都開催

- ・世界各国からの参加者に向け日本博事業を実施。
- ・日本博ブースを設置して広報。



### (2) 世界経済フォーラム年次総会 (ダボス会議) 関連企画

- ・ロイターセッション (ロイター通信)  
2020年1月21日 会場：スイス・ダボス  
オープニングリマークス：亀岡文部科学副大臣  
登壇者：岩本渉 (アジア太平洋無形文化遺産研究センター所長)  
マチルダ・マクエイド (クーパーヒューイット副館長)  
マルセルロ・ダントス (Cidade Matarazzo芸術監督)

※視聴者数 約170万人



- ・ジャパンナイト ダボス 2020

2020年1月22日 会場：スイス・ダボス

主催：ジャパンナイト実行委員会

内容：日本芸術文化振興会河村理事長による挨拶、能楽笛方演奏、日本博コンセプトムービーの上映



## VII 在日大使館等に向けた発信

### 大使館等の日本博事業への招へいによるPR

- ・在日大使館関係者を日本博プロジェクトに招待し、日本博全体の説明、今後のPRのための意見聴取等を実施。

2019年 5月：DiscoverKABUKI @国立劇場への招待

10月：外務省地方連携推進室との連携による外交団招へいスタディツアー

10月：スポーツ庁との連携によるラグビーワールドカップ2019文部科学大臣主催レセプションでのプロモーション映像上映及び歌舞伎「連獅子」の公演

## Ⅷ 国内メディア広告

### (1) 新聞広告



15段カラー  
朝日新聞 (3月15日朝刊掲載)



15段カラー  
読売新聞 (3月15日朝刊掲載)



15段カラー  
日本経済新聞 (3月15日朝刊掲載)

### (2) 雑誌広告

BRUTUS  
芸術新潮  
家庭画報  
婦人画報  
Pen  
Tokyo Walker等



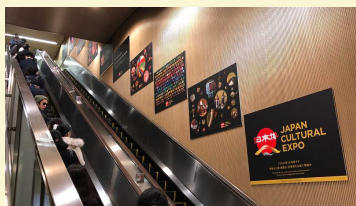
サライ  
(2020年3月9日発行)



JAL ANA 機内誌



### (3) 交通広告



六本木駅



上野駅



羽田空港 到着ロビーフラッグ

## Ⅸ 政府広報媒体等による発信

### (1) 政府広報番組 (BS-TBS)

- 「徳光 & 木佐の知りたいニッポン！」 放映日時：2019年11月2日

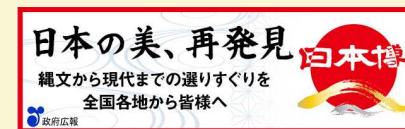


### (2) 政府広報ラジオ番組 (TOKYO FM)

- TOKYO FM「秋元才加とJOYのWeekly Japan!!」  
放送日時：2020年2月1日・2月2日  
テーマ：日本文化の魅力を発信！ 日本博

### (3) 政府広報バナー広告

- 掲載日：2019年11月18日～24日
- 掲載場所：Yahoo!ニュース (スマホ版)
- バナーリンク：日本博公式ホームページへリンク



## X 各種WEBページ等への寄稿等

### (1) 季刊 文化経済学会

- 国際観光旅客税を財源とした『日本博』の目指すもの

### (2) Highlighting JAPAN 2019年9月号

- インタビュー「文化の継承と創造」

### (3) 月刊文化財 2019年12月号

- 「日本博」(Japan Cultural Expo) – 概要と今後の予定 –

### (4) ネットTAM「オリンピック文化通信」

- オリ・パラ契機での文化プログラム推進における国の方針・施策、現状と展望

- ・1次(1月から公募等開始):主催・共催型61件、公募助成型88件 **計149件を採択**
- ・2次(5月から公募等開始):公募助成型 **13件を採択**
- ・参画プロジェクト **46件を認証(9月10日現在)**

特に、1月に公募等を行った1次採択分149件について、新型コロナウイルスの影響等により事業計画の大幅な変更等が生じている。

## ◆主催・共催型：61件(1次採択分)

	予定通り実施	変更して実施 (今年度中)	辞退 (来年度実施を含む)
実施済み (開催中を含む)	1	19	—
今後実施	2	36	—
計	3	55	3

## ◆公募助成型：88件(1次採択分)

	予定通り実施	変更して実施 (今年度中)	辞退 (来年度実施を含む)
実施済み (開催中を含む)	5	21	—
今後実施	12	30	—
計	17	51	20

## ◆今後の方針

### 日本博総合推進会議（第2回）【2020年3月12日】（総理発言）

残念ながら、今週予定されていた日本博オープニング・セレモニーは、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、開催を中止することといたしました。

現在は、感染の拡大防止に全力を挙げておりますが、収束が視野に入った段階では、日本の素晴らしさを国際社会に向けアピールするため、日本博を、一層強力に推進していくことといたします。

このため、本日委員の皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、日本博が、縄文時代から現代まで続く「日本の美」を各分野にわたって体系的に展開する試みとして、より充実した内容となるよう、文化庁が中心となって、関係府省が連携して、さらに取組を進めてください。

### ・今年度のプロジェクトの取扱方針

1. 新型コロナウイルス感染症対策について万全を期しつつ、**極力開催**する。
2. 新型コロナウイルス感染症の状況に常に留意し、**必要な場合は時期・場所を変更する等の調整**を行う。
3. やむなく中止となったプロジェクトは、可能な範囲で**多言語映像コンテンツの制作・発信等**を行う。

### ・来年度のプロジェクトの実施方針

上記の取扱方針に加え、今後計画するプロジェクトについては、多言語映像コンテンツの制作・発信にも力を入れ、**新たな環境を見据え、国内観光需要・インバウンド需要の喚起**を目指す。

また、**文化プロジェクトのイノベーションに資する取組を積極的に推進**する。

※来年度の募集については、政府予算案決定後に開始予定。

- ・**2021年度を日本博の本番年と位置付けるとともに、2022年度以降も国内観光需要の一層の喚起やインバウンド需要回復に資するコンテンツの発信等**に取り組む。

# ウィズコロナ時代における日本博の新たな取組

## 特別展「きもの KIMONO」

### 〈 KIMONO展の映像コンテンツ制作・配信 〉

◀ 入場制限下においても多様な配信を試行 ▶

- **動画コンテンツ**：自宅で楽しめる「ギャラリートーク」映像コンテンツを制作・配信。海外向けに英語字幕版も同時配信。  
※イギリスのV & A美術館と連携
- **動画配信**：ニコニコ美術館（放送日：7月20日(月)）  
⇒ 来場数 23,365（7月21日（火）18:00時点）
- **テレビ放送**：NHK Eテレ「日曜美術館 アートシーン」  
（放送日：7月19日(日)）



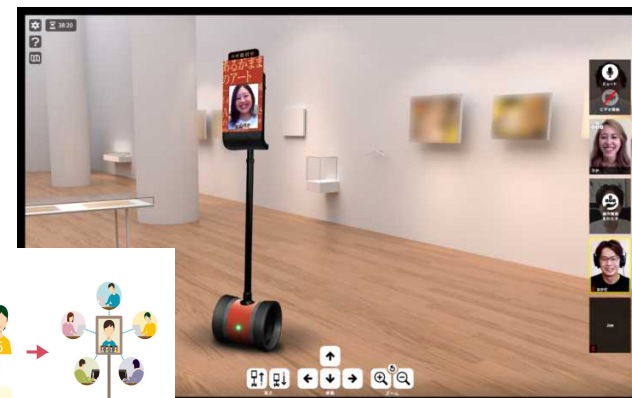
- 開催期間：2020年6月30日（火）～8月23日（日）
- 実施場所：東京国立博物館（台東区・上野公園）
- 主催：東京国立博物館、朝日新聞社、テレビ朝日、文化庁、日本芸術文化振興会

## 特別展「あるがままのアート - 人知れず表現し続ける者たち - 」

### 〈 バーチャル美術館の開設 〉

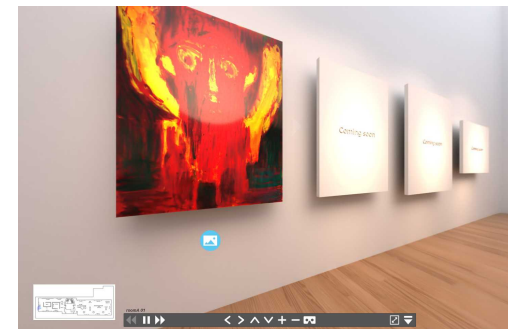
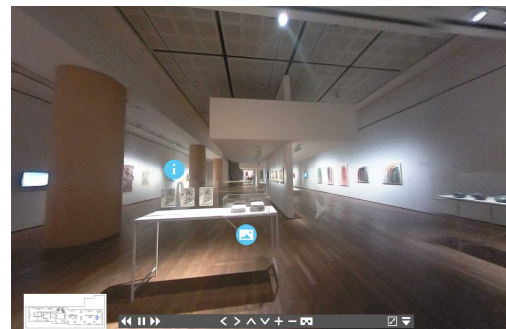
◀ 入場制限下においても多様な配信を試行 ▶

- **ロボ鑑賞会**：  
会場内で走行するロボットを参加者が自ら操作し、展覧会をオンラインで鑑賞する体験を提供。仲間と一緒に“ビデオチャット”をしながら、自宅で展覧会を楽しめる。また、会期中“ロボ館長”が登場し、会場内での作品解説を実施。



- **360° VR展覧会**：

360° 写真を使ったバーチャル展覧会をオンラインで公開。



- 実施日：2020年7月23日（木・祝）～9月6日（日）
- 実施場所：東京藝術大学大学美術館（台東区・上野公園）
- 主催：東京藝術大学、NHK、文化庁、日本芸術文化振興会

# ウィズコロナ時代における日本博の新たな取組

## ユネスコ無形文化遺産

特別展「体感！日本の伝統芸能—歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界—」

### 〈 伝統芸能展のVR映像 〉

#### 〈 感染症拡大防止のため2020年中止・延期 〉

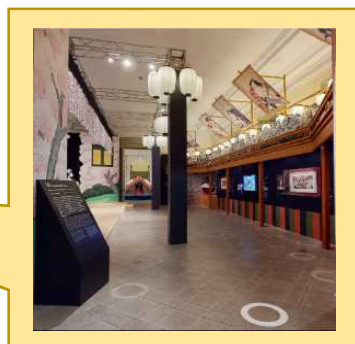
- VR映像： 展覧会場内を360°動画埋め込み
- 動画コンテンツ： 会場全体の映像を、解説とともに配信
- テレビ放送： B S日テレ「ぶらぶら美術・博物館」（放送日：4月28日(火)）

開催に向けて展示の準備を進められていた会場内の様子を撮影し、バーチャルツアーや映像にてオンライン上で公開。

#### 〈 動画コンテンツ 〉



#### 〈 VRコンテンツ 〉



- 開催期間：2020年3月10日（火）～5月24日（日）
- 実施場所：東京国立博物館 表慶館
- 主催：文化庁、日本芸術文化振興会、東京国立博物館、文化財活用センター、読売新聞社

## 日本博特別公演 『日本の音と声と舞』

### 〈 国内外へ映像コンテンツ配信 〉

#### 〈 感染症拡大防止のため2020年中止 〉

- テレビ放送： B S日テレ 放送日：6月20日（土）  
NHK総合 放送日：7月19日（日）
- オンライン： 日本博YouTubeでダイジェスト版を配信など

B S日テレでの放送後、民放テレビ局連携公式ポータルサイト「TVer」で1か月間配信。NHK総合での放送後、NHK番組配信サービス「NHKプラス」で配信。また、各芸能の映像を海外向けに発信する短いコンテンツで編集（日・英・中・韓・仏）・配信予定。



- 収録日：2020年3月14日（土）
- 実施場所：東京国立博物館 平成館
- 制作：日本芸術文化振興会

# ウィズコロナ時代における日本博の新たな取組

## 特別展「京の国宝 一守り伝える日本のたから」

### 〈 国宝修理映像コンテンツ編集・配信 〉

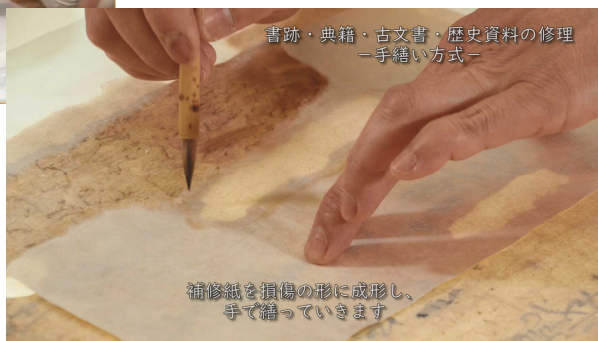
≪ 感染症拡大防止のため2020年中止・延期 ≫

- 映像コンテンツ：国宝修理の技を映像で配信
- パンフレット作成：多言語（日・英・中・韓）で作成

文化財の保存活用に必要な文化財修理、修理材料の確保や修理技術の継承、模写・模造製作を通じた技術の復元等の取り組みを紹介するパンフレットを多言語（日・英・中・韓）で作成し、あわせて映像コンテンツを編集し配信。



修理に用いられる紙は多くのの人に支えられています



書跡・典籍・古文書・歴史資料の修理  
—手繕い方式—

補修紙を損傷の形に成形し、  
手で繕っていきます



- 開催期間：2020年4月28日（火）～6月21日（日）
- 実施場所：京都市京セラ美術館（京都市左京区）
- 主催：文化庁、日本芸術文化振興会、京都市、読売新聞社

## 工藝2020 – 自然と美のかたち –

### 〈 映像コンテンツ制作・発信 〉

≪ 入場制限下においても多様な発信を試行 ≫

- 映像コンテンツ：展示会場内の映像コンテンツを制作・発信し、自宅や海外でも楽しめるよう企画
- オンライン：ギャラリートーク・シンポジウムなどの映像を配信



室瀬和美  
《柏葉時絵螺鈿六角合子》  
2014年



奥田小由女  
《海から天空へ》  
2018年



森口邦彦  
《友禅着物 緋格子文》  
2019年



春山文典  
《宙の響》  
2017年



※実施イメージ



会場構成：©伊東豊雄建築設計事務所 ※会場イメージ

- 開催期間：2020年9月21日（月・祝）～11月15日（日）
- 実施場所：東京国立博物館 表慶館（台東区・上野公園）
- 主催：文化庁、日本芸術文化振興会、東京国立博物館、読売新聞社

# ウィズコロナ時代における日本博の新たな取組

## 日本博 皇居外苑特別公演（仮称）

〈 国内外へ映像コンテンツ配信 〉

### 《 これからの新しい舞台観覧の試行 》

- **オンライン**：配信調整中
- **テレビ放送**：放映調整中

国内外にテレビやWEBにより配信するための映像コンテンツを制作。

「翁」  
観世清和



二重橋を背景にした野外特設舞台



- **開催期間**：2021年3月中旬（予定）の3日間
- **実施場所**：皇居外苑（環境省・文化庁との連携事業）
- **主催**：文化庁、日本芸術文化振興会

## 東北の6つの伝統的夏祭りが一体となった「東北絆まつり」による 東北の復興、魅力発信プロジェクト ～2020年を契機とした首都圏巡回プロモーション～

〈 映像コンテンツ編集・発信 〉

### 《 WEBで東北の祭りと文化を発信 》

- **動画コンテンツ**：祭りを体感できる映像コンテンツの発信
- **WEBサイト**：過去の東北絆まつりパレード映像、特別演舞写真等のアーカイブページを追加し発信。

集客イベントの自粛に伴い、自宅で楽しめるホームページづくりを目指し、祭り文化をより深く知ってもらうコンテンツを制作し、WEBサイトやSNSを活用して発信。



Chagu Chagu Umakko/Morioka-shi and Takizawa-shi



Kanto Festival/Akita-shi, Akita

（参考）2019年度制作映像コンテンツ  
「東北のまつりと文化・観光の魅力」



青森ねぶた祭/青森県青森市

- **開催期間**：2020年7月～2021年2月
- **実施場所**：東京都内
- **主催**：東北絆まつり実行委員会

# ウィズコロナ時代における日本博の新たな取組

## Discover 伝統芸能

— 歌舞伎・能・狂言・文楽・日本舞踊・寄席・雅楽で「おもてなし」 —  
 〈 歌舞伎入門動画コンテンツを制作・配信 〉

### 〈 新しい舞台鑑賞の試行 〉

#### 『松本幸四郎の歌舞伎を知ろう』

外国人向けDiscover KABUKI公演に替えて、英語字幕付きで初心者向けの歌舞伎入門動画コンテンツを制作し、国内外に配信。

#### 歌舞伎入門動画コンテンツ 「松本幸四郎の歌舞伎を知ろう」



仁木弾正（松本幸四郎）

- 配信期間：2020年8月27日（木）10:00～9月26日（土）22:00（第1回）  
 ※第1回配信後、完成次第、第2回、第3回を配信予定  
 ※8月27日から順次配信される1～3回の動画（日本語）の後、  
 英語字幕付きの短編を別途制作。  
 第1回：「歌舞伎役者は神出鬼没」～舞台と大道具～  
 第2回：「映(ば)える歌舞伎役者」～化粧・かつら・衣裳～  
 第3回：「歌舞伎の生物多様性」～動物・物の怪・霊獣～

- 料金：1,800円（各回・税込）
- 制作：国立劇場

## 二条城×ネイキッド 夏季特別ライトアップ2020

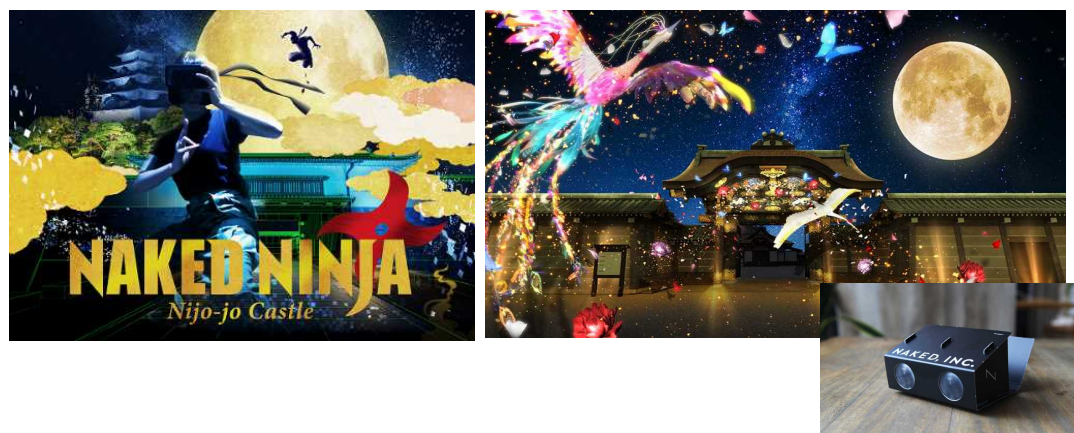
### 〈 バーチャル映像コンテンツの発信 〉

#### 〈 現地の取組とオンラインの多様な組み合わせの発信を試行 〉

■ VRコンテンツ：「NAKED NINJA -Nijo-jo Castle-」を制作

■ 自宅でVR映像を楽しむ：

「オンラインで二条城に忍び込む！」をコンセプトに、バーチャル二条城へ潜入し、自宅や海外でも楽しめるVRコンテンツを提供し、新しい観光体験をお届けする。



VRゴーグル

■ 現地で楽しむ：

二条城現地では、ディスタンス提灯で地面を花の模様で照らし、光の輪で自然と来場者同士の距離を保ちながらライトアップされた庭園などを回遊できる。



万華鏡をモチーフとした  
大きなカレイド花火



ディスタンス提灯による回遊

- 開催期間：2020年8月8日（土）～30日（日）
- 実施場所：元離宮二条城
- 主催：株式会社ネイキッド

# ウィズコロナ時代における日本博の新たな取組

## みんなの花火

～障がい者も外国人もあるゆる人が一緒に楽しめる花火～

〈外国人インフルエンサーなどによる花火の魅力発信〉

### ≪移動制限下における多様な発信≫

- **オンライン**：インフルエンサーによるYouTube配信  
(2019年9月25日公開、2020年8月までに650万回以上視聴)
- **花火デザインワークショップ**：2020年8月3日(月)、7日(金)  
(於：品川区立台場小学校)
- **テレビ放送・WEB配信**：花火打ち上げ模様を放映  
(日本テレビ：2020年8月23日(日))

### 〈YouTube配信〉

外国人インフルエンサーによる映像を配信し、海外でも人気が高い日本の花火の魅力を国内外に発信。



### 〈花火デザインワークショップ〉

また、障がいの有無を超えて子どもたちと一緒に、花火のデザインワークショップで作った絵をもとに、花火の演出プログラムを作り上げ、打ち上げた。



●主催：一般社団法人日本花火推進協会

## 企画展「国立公園」 - その自然には物語がある -

〈国際放送やWEBで放送〉

### ≪移動制限下における多様な配信≫

- **オンライン**：ドローンを活用した4K高精細空撮映像の配信
- **テレビ放送**：テレビ国際放送を中心とした国内外メディアの活用
- **巡回プロモーション**：8K体験キャラバンカーによる巡回

四季折々に変化する日本の多様な自然と、そこに暮らしてきた日本人の文化を、高精細空撮映像でも紹介。

また、8K体験キャラバンカーによる巡回プロモーションやテレビ番組の制作・放映を通じて、同企画展及び全国の国立公園への誘客を図る。

国立公園展 PR動画



企画展「国立公園」予告 4Kドローン編



●開催期間：2020年8月25日(火)～11月29日(日)

●実施場所：国立科学博物館 地球館特別展示室

●主催：国立科学博物館、環境省、株式会社日本国際放送、文化庁、日本芸術文化振興会

## 日本博の開催準備等に関する関係府省連絡会議の開催について

〔平成 31 年 2 月 18 日〕  
〔内閣総理大臣決裁〕

1 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や訪日外国人観光客の拡大等も見据えつつ、日本の美を体現する我が国の文化芸術の振興及びその多様かつ普遍的な魅力を発信する日本博の具体化及び開催準備等に関し、関係府省の緊密な連携を図りながら政府全体の総合調整を行うため、日本博の開催準備等に関する関係府省連絡会議（以下「連絡会議」という。）を開催する。

2 連絡会議の構成は、次のとおりとする。ただし、議長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めることができる。

議長 内閣官房副長官（参）

議長代理 内閣官房副長官補（内政担当）

議長補佐 文化庁長官

内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局長

構成員 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）

内閣官房アイヌ総合政策室次長

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長

内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局総括調整統括官

内閣府知的財産戦略推進事務局次長

宮内庁長官官房審議官

警察庁長官官房審議官（国際担当）

総務省大臣官房総括審議官（情報通信担当）

外務省大臣官房国際文化交流審議官

国税庁長官官房審議官

文部科学省大臣官房総括審議官

文化庁次長

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長

農林水産省食料産業局長

経済産業省大臣官房商務・サービス審議官

観光庁次長

環境省自然環境局長

- 3 連絡会議の庶務は、文化庁の協力を得て、内閣官房において処理する。
- 4 前各項に定めるもののほか、連絡会議の運営に関する事項その他必要な事項は、議長が定める。

平成 31 年 2 月 26 日

## 日本博の開催準備等に関する関係府省連絡会議運営要領

日本博の開催準備等に関する関係府省連絡会議（以下「連絡会議」という。）の運営については、この運営要領の定めるところによるものとする。

1. 連絡会議は非公開とし、会議終了後、議事要旨及び連絡会議で配布された資料を速やかに公表する。ただし、議長が特に必要と認めるときは、議事要旨又は配布資料の全部又は一部を公表しないものとすることができる。
2. 連絡会議終了後、原則として、連絡会議の事務局が記者ブリーフを行い、議事内容を説明するものとする。